開き戸 金具 1

引戸 金具 2

上吊式 引戸金具 3

AFD

HR

SD 連動厅

オプション

引戸錠

4

移動 間仕切 金具 5

室内用 アルミ建具 6

取手: 引手 8 スライド

丁番

9 10

収納. 吊金具 11

その他の 家具金物 12

物干金具· 諸金具 13

設計 施工 ガイト

会社案内

◇折戸1組の総質量:AFD-2800-K 30kg以下/AFD-2800 20kg以下 使用条件

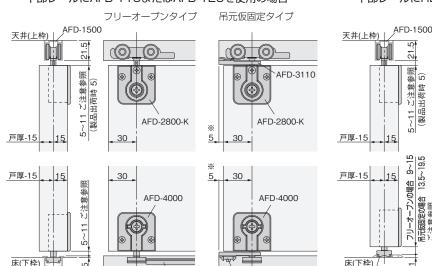
◇戸の厚さ:24mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800~900mm

※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

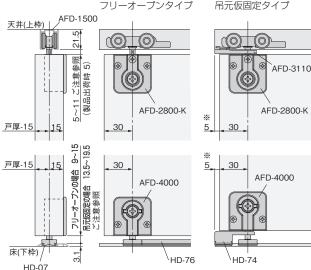
設 計 ガイド

■金具の納まり参考図

下部レールにAFD-110またはAFD-120を使用の場合



下部レールにHD-07を使用の場合



上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法、あるいは最大値

どうしを足した寸法に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意

上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法 にしていただき、

すきま寸法は、枠や床のたわみや戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のあ

AFD-110またはAFD-120の場合: 10mm<上下のすきま<22mm

HD-07でフリーオープンの場合: 14mm<上下のすきま<26mm

HD-07で吊元仮固定の場合: 18.5mm<上下のすきま<30.5mm

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法

AFD-120の場合は 12mm

Ε ⋖ 丁番 結合部

●上のすきま

HD-76

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5~11

●下のすきま

B=下部レールと戸の間のすきま寸法 AFD-110またはAFD-120の場合=5~11 HD-07でフリーオープンの場合=9~15 HD-07で吊元仮固定の場合=13.5~19.5

●左右のすきま設定(折戸1組の場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E(フリーオープンで吊元仮固定用キャッチを使用しない場合) C+E(吊元固定の場合) 使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
24	2.7	2.4
27	3.2	2.8
30	3.7	3.3
33	4.3	3.8
35	4.7	4.2
40	5.9	5.2

※戸幅400mm未満で使用する場合にはご相談ください。

使用丁番: HD-35

※吊元仮固定用キャッチを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定の場合の吊元側すきま寸法」参照

ご注意

ください

医用了曲:110 00		
400	450	
6.4	6.2	
6.6	6.4	
7.5	7.2	
7.7	7.4	
9.0	8.6	
12.4	12.0	
	400 6.4 6.6 7.5 7.7 9.0	

の範囲で設定してください。

る寸法を設定してください。

CまたはEが吊元固定の 場合の吊元側すきま寸法 厚 C(またはE) 戸 30 50 6.1

■表記追加(25/07/01)

AFD-110

または AFD-120

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■戸を開けた時のX寸法



- ●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用しない場合 X=戸厚+98mm
- ●フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用する場合 戸厚24~38mmの場合 X=戸厚+140mm 戸厚39~40mmの場合 X=戸厚×2+101mm
- ●吊元仮固定タイプの場合 X=戸厚+100mm+吊元すきま寸法
- ※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上部吊り車(AFD-2800-K、 AFD-2800)の取付け 加丁寸法

下部ガイド(AFD-4000) の取付け加工寸法

